

# 福島第一原子力発電所 1／2号機排気筒の線量調査について

2016.09.29

---

東京電力ホールディングス株式会社

**TEPCO**

## 1. 目的と調査項目

---

### 【目的】

排気筒の解体工法検討において、必要作業員数の想定、被ばく線量評価、施工実現性を評価する検討条件の精度向上を目的に、排気筒の線量率を調査する。

### 【調査項目】

#### ◆ 筒身外部調査

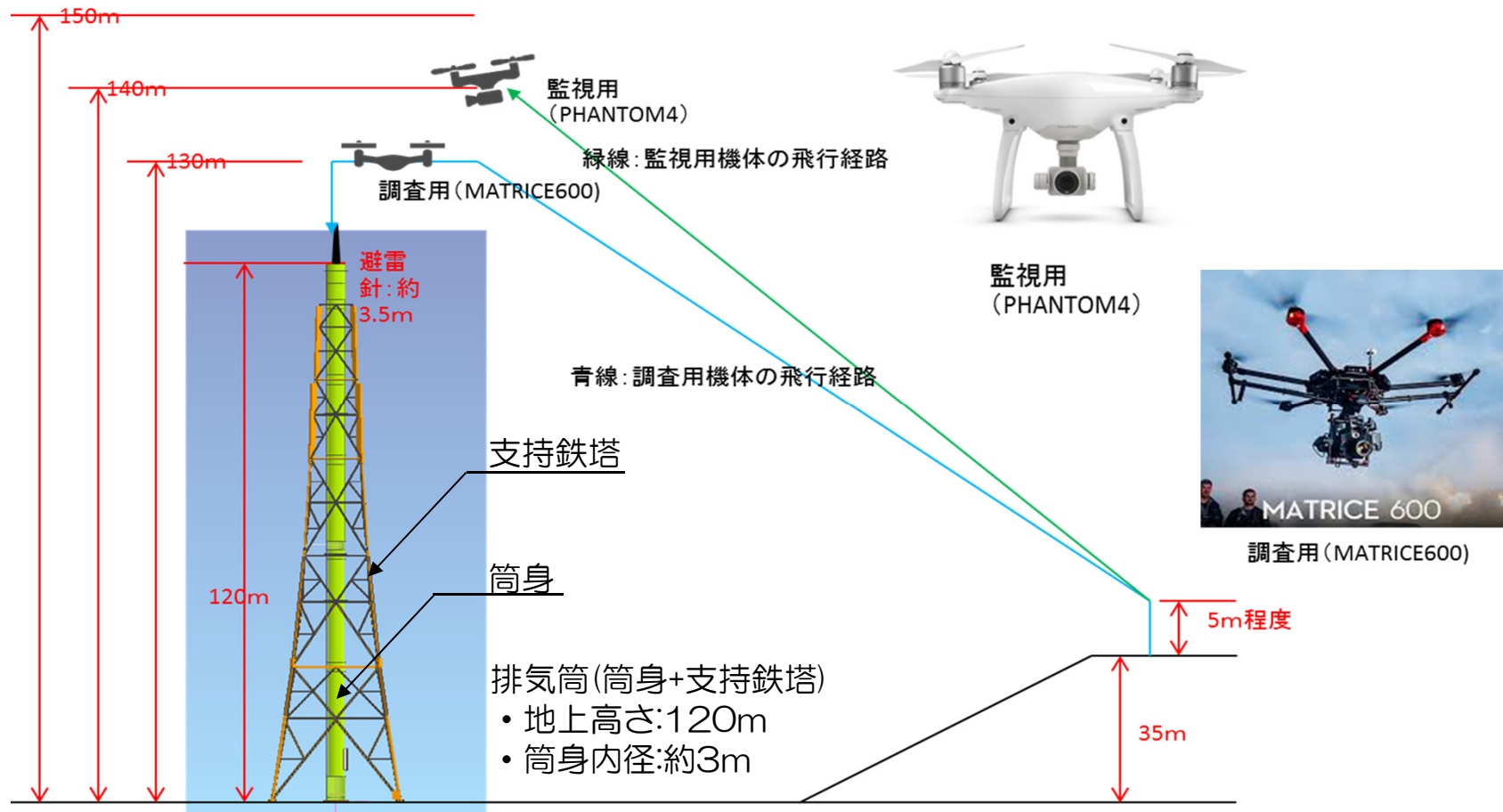
- 作業エリアの線量環境を把握するため、筒身外面近傍の線量率を調査する。
- 筒身に近接した線量測定が困難な場合は、筒身から離れた場所で線量測定を行い作業エリアの線量率を推定する。

#### ◆ 筒身内部調査

- 筒身切断時の線量環境を推定するため、筒身内部の線量率を調査する。

## 2. 調査概要

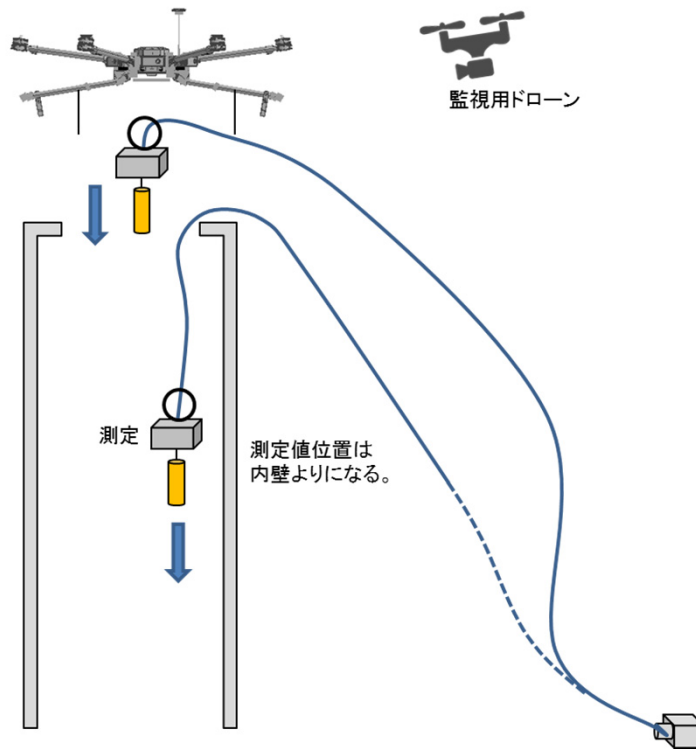
- 調査箇所が高所であり地上からの目視が困難なため、全体を俯瞰的に確認する監視用と調査用の小型無人飛行機を使用し調査を行う。
- 筒身外部調査は、小型無人飛行機に線量計を搭載し直接測定する。筒身内部調査は、小型無人飛行機で線量計を筒身内に投下し調査を行う。



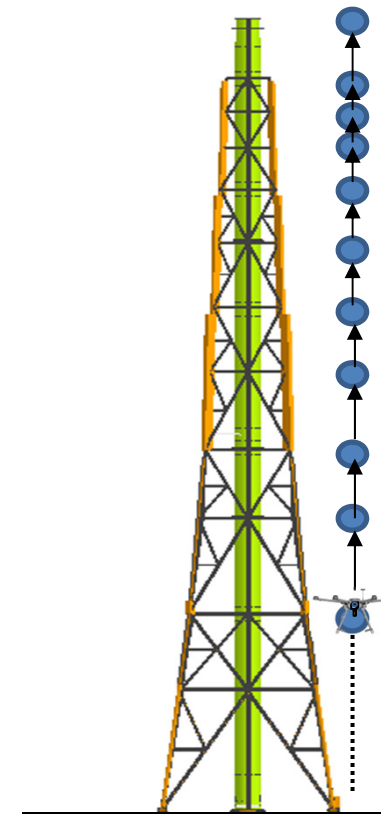


## 参考1. 線量調査イメージ

- 筒身内部調査は、小型無人飛行機で線量計を筒身内に投下し、線量計に取り付けたワイヤーロープを地上から送り出すことで深さ方向の線量測定を行う。
- 筒身外部調査は、解体作業時に足場を設置する可能性がある排気筒の各支持点の高さの線量を、小型無人飛行機に取り付けた線量計を用いて測定する。



筒身内部調査のイメージ



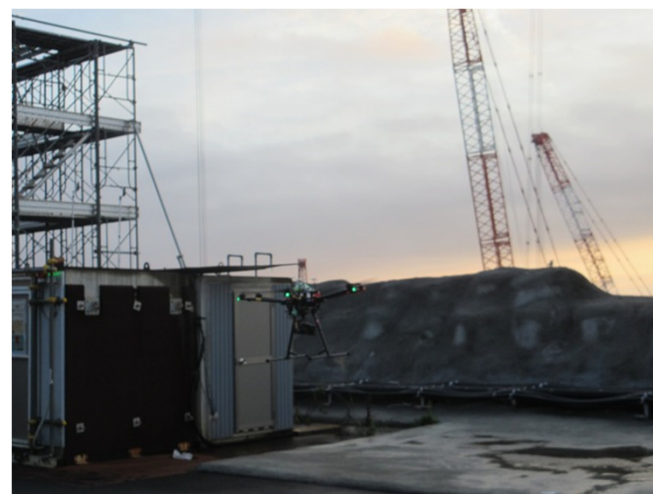
筒身外部調査のイメージ

## 参考2. 線量調査状況

<2016年9月24日小型無人飛行機による調査開始>



小型無人飛行機 左側：調査用 右側：監視用



小型無人飛行機（調査用）離陸



調査風景 左側：監視用 右側：調査用



調査風景 調査用

撮影者：東京電力ホールディングス株式会社  
撮影日：2016年9月25日